

神出病院退院時転帰について

令和4年11月30日

令和5年3月20日更新

令和5年8月9日更新

医療法人 聖和錦秀会

神出病院

※下線部は更新箇所

神出病院の退院時転帰と在院日数の推移について

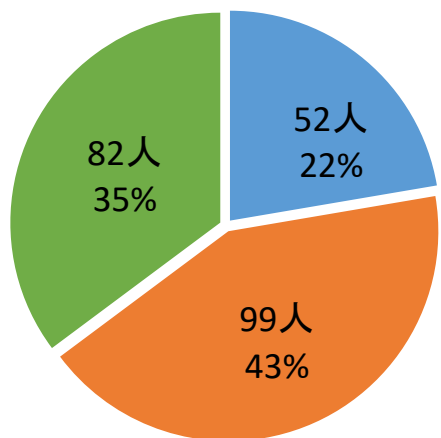
神出病院の退院支援について

- 令和3年6月以降、多職種チーム医療による退院支援を積極的に行っている。
- 病棟にてケースカンファレンスを実施し、チーム内で情報共有、アセスメント、治療の見直しを行っている。
- 当院では、他の精神科病院と異なり、高齢及び身体合併症のある患者の入院治療を行っている。
- 早めの身体科病院への受診及び転院も積極的に進めている。
- 令和5年度より内科医を3人に増員し、身体合併症治療に力を入れている。

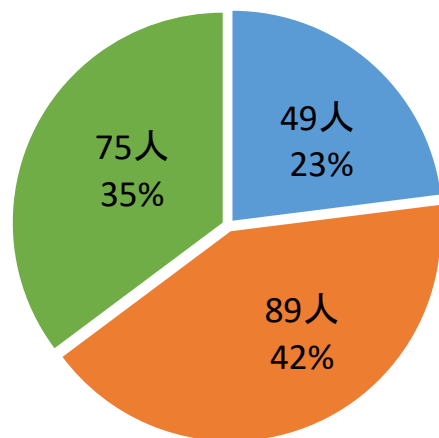
- 令和5年7月より、退院支援プログラム「神出リカバリープログラム」を開始した。長期入院の方が地域生活に繋がっていくよう多職種で支援を行っている。プログラムには、ピアサポーターの方にも御協力いただき、交流会を計画している。
- 病棟での退院支援カンファレンスに、神戸市職員も定期的に参加している。

退院時転帰（令和元年度から令和5年6月末まで）

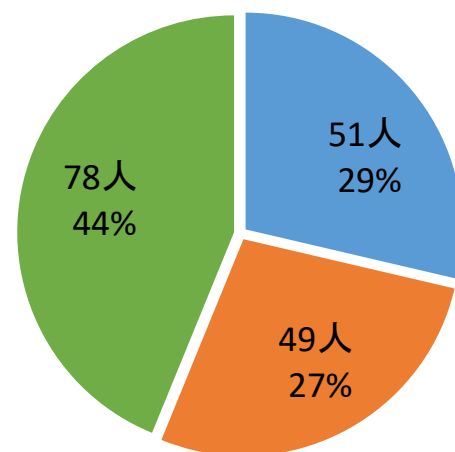
令和元年度



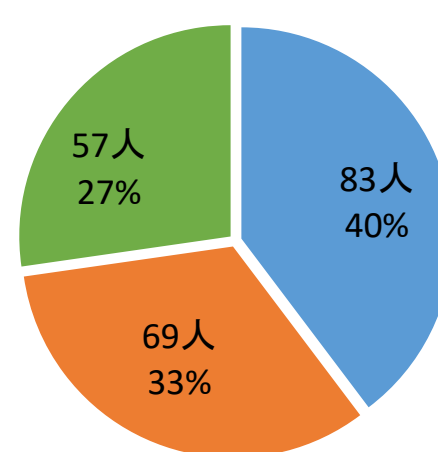
令和2年度



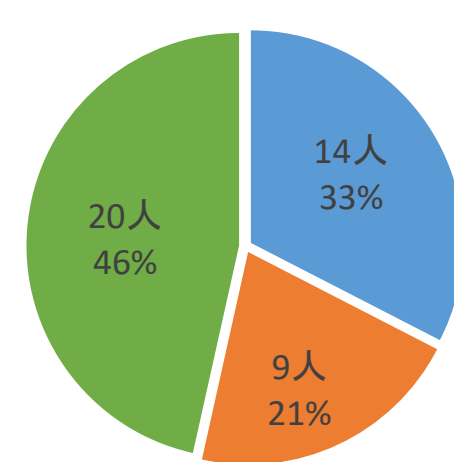
令和3年度



令和4年度



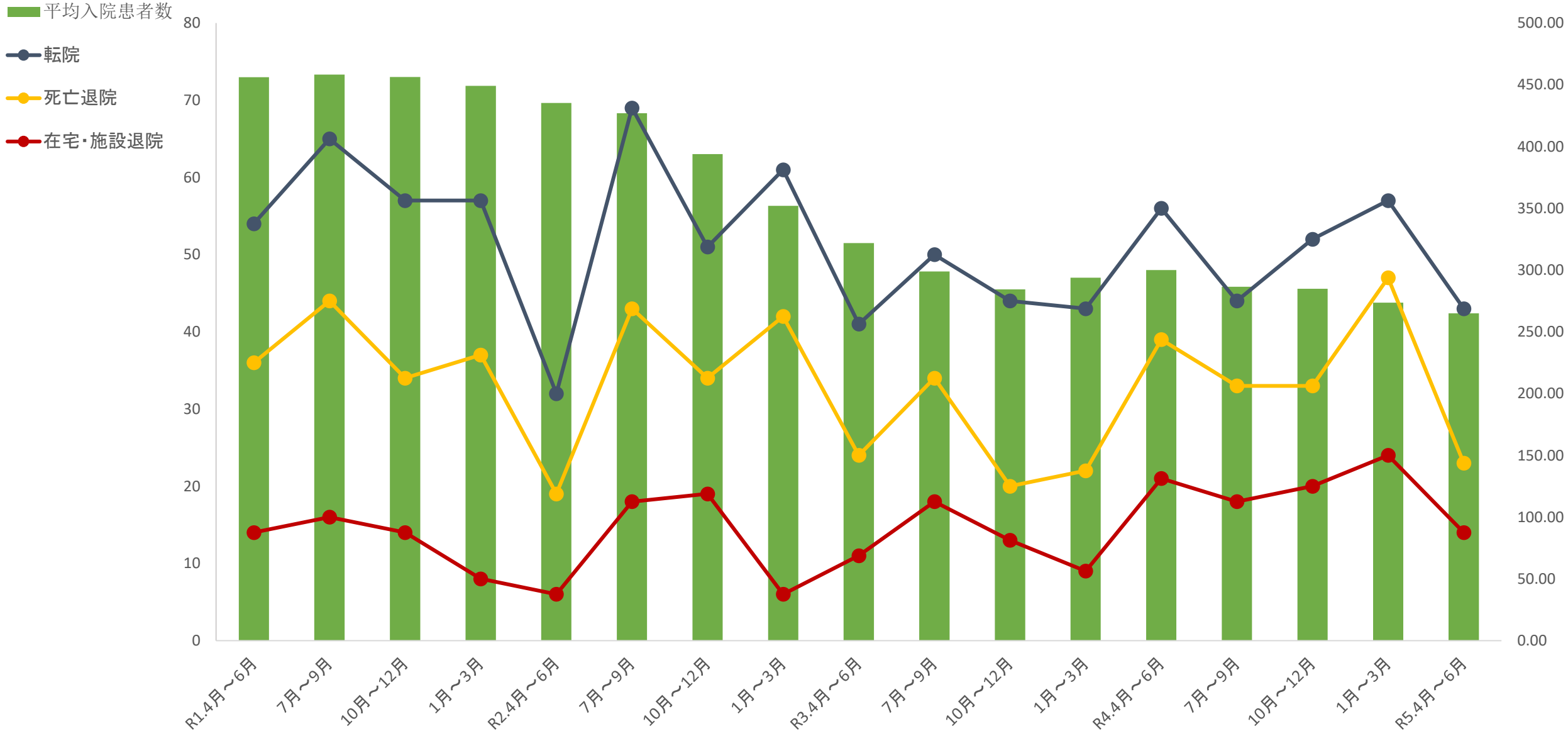
令和5年度



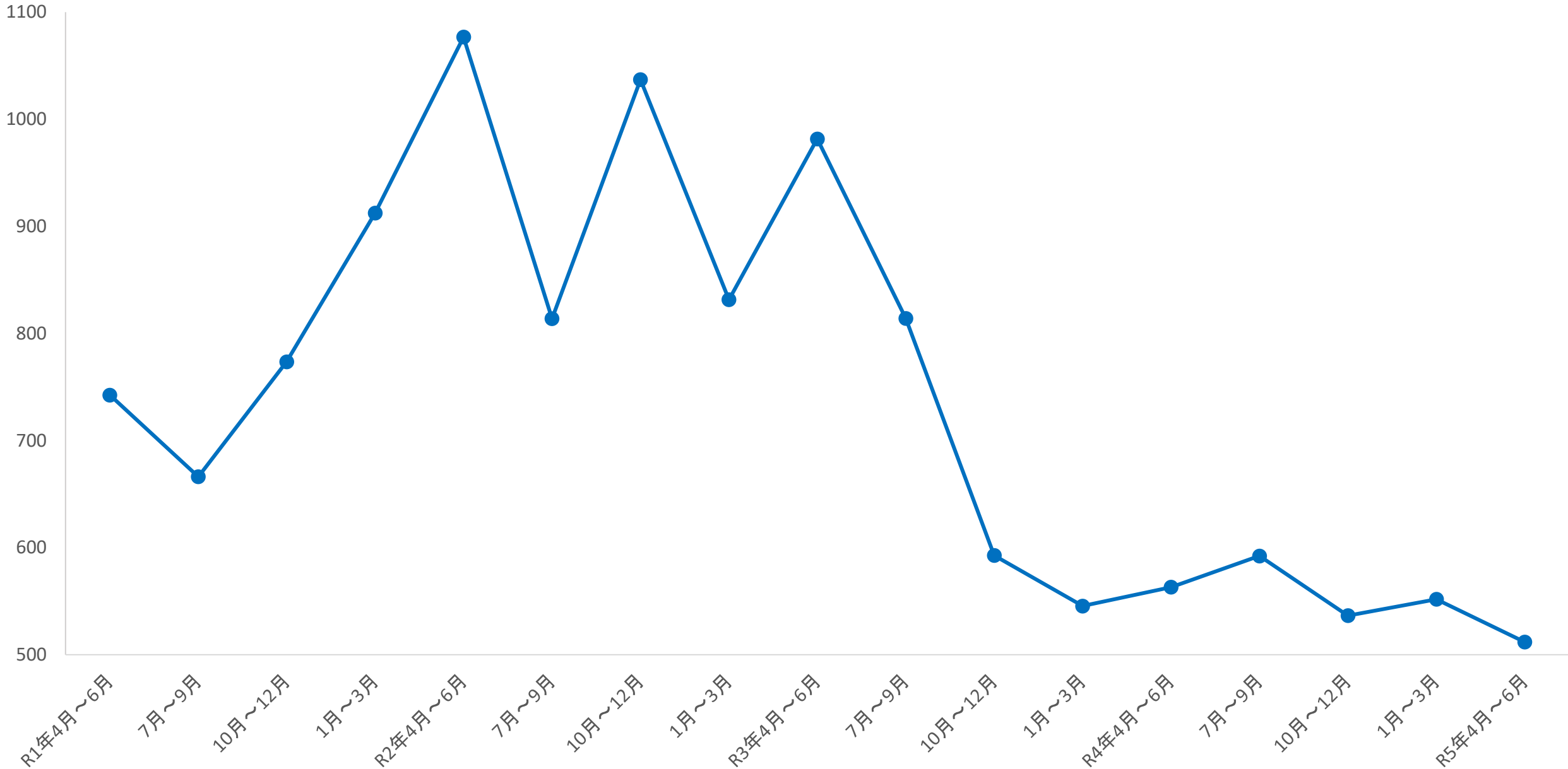
■ 在宅・施設退院
■ 死亡退院
■ 転院

令和元年度の死亡退院率は44%であるのに対して、令和3年度より27%と減少。
同年度より転院率・在宅及び施設退院率が増加。
令和5年度に関しては、4月から3か月間のデータとなっている。

R1年4月～R5年6月 平均入院患者数の推移と退院種別件数（3か月合計）



R1年4月～令和5年6月平均在院日数推移（3か月平均）

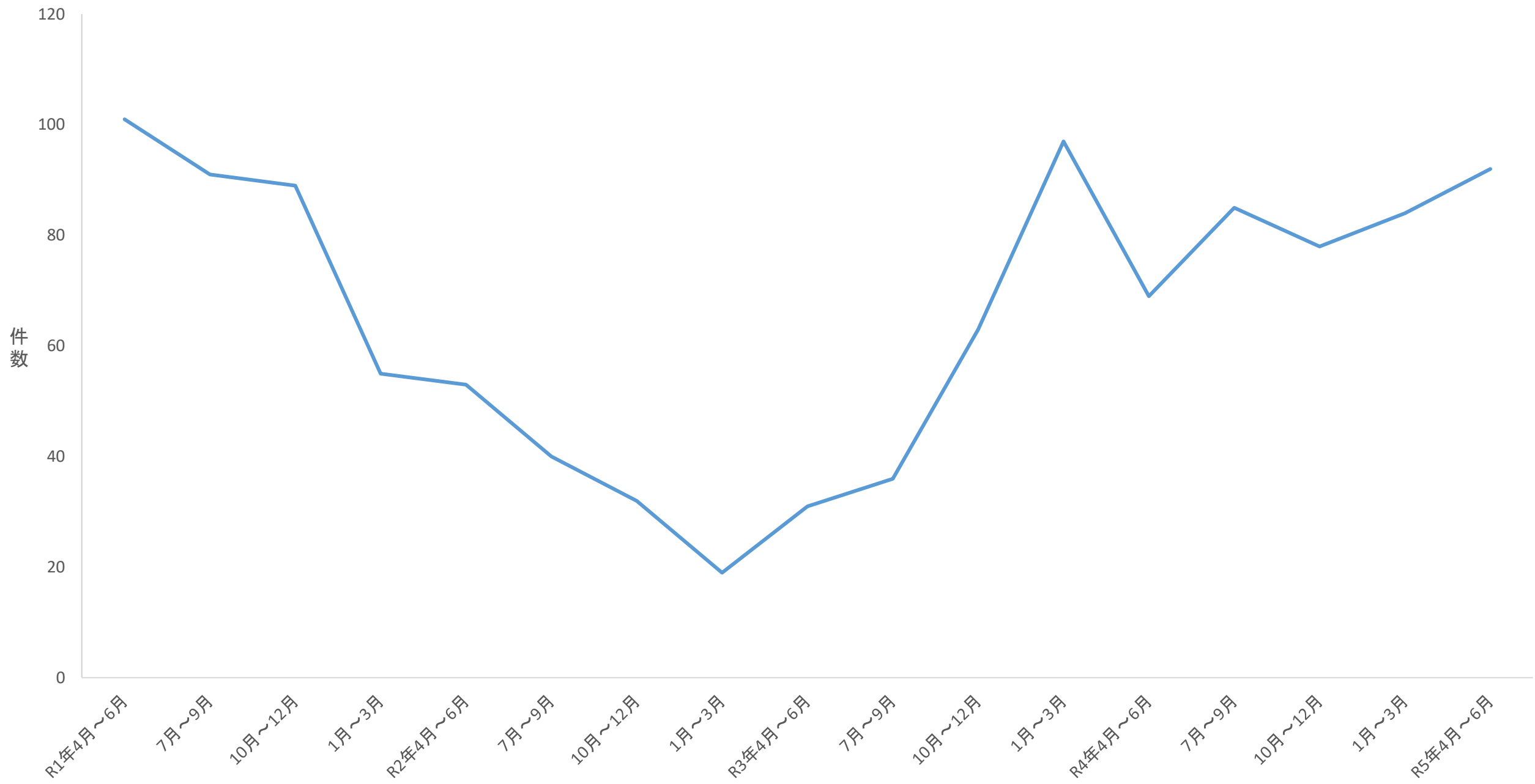


入退院の状況から分かること

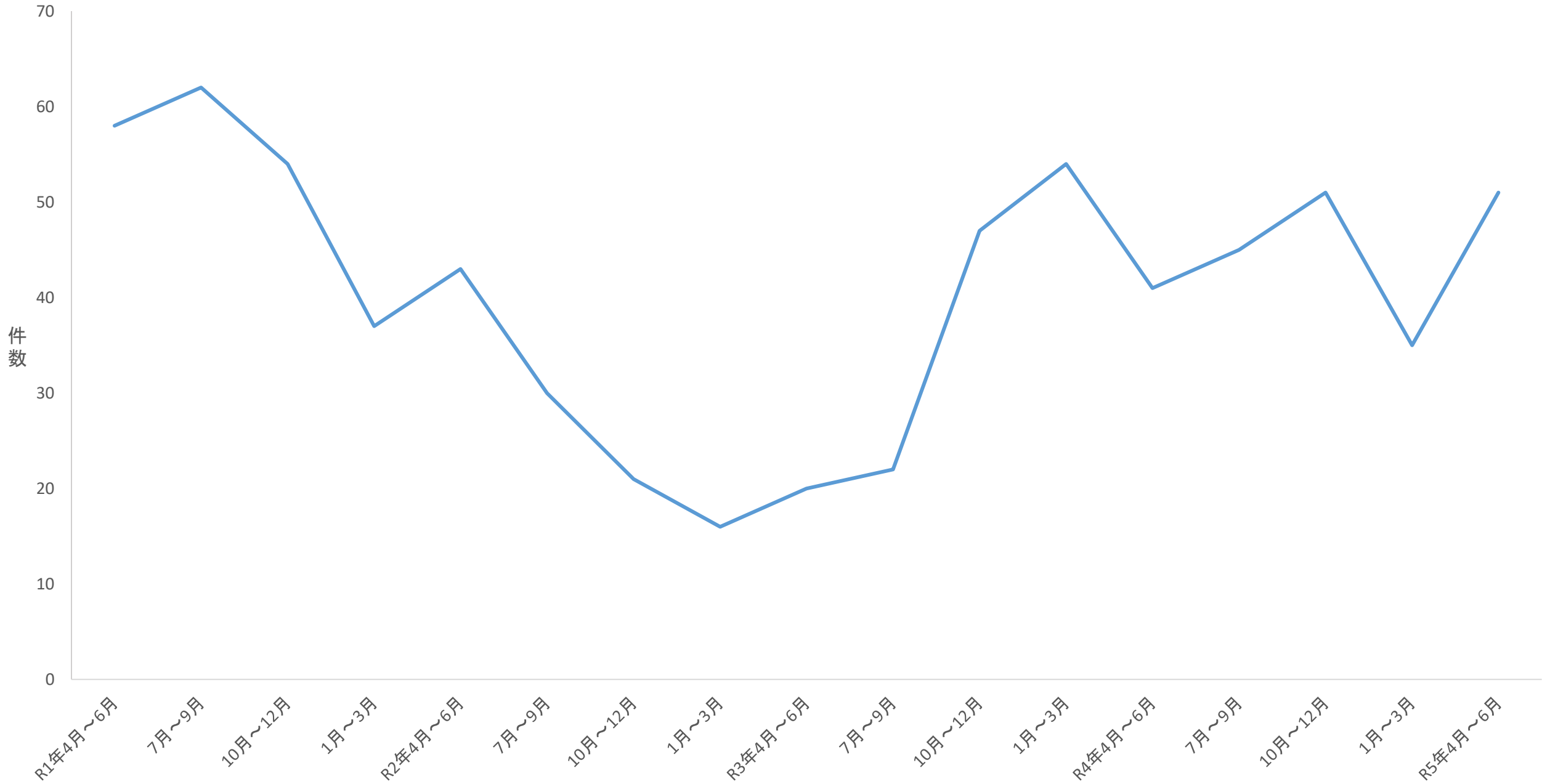
- 病状が軽快し、自宅および施設へ退院となった患者の割合は、令和3年度以降増加している。
- 死亡退院は、令和3年度以降大幅に減少している。
- 平均在院日数に関しても令和3年度9月以降減少しており、長期入院患者数は減っている。
- 令和元年度に比べ、令和3年度は入院患者数が大幅に減少しているが、転院率は上がっている。これは、身体合併症等により状態が悪くなり、他科に転院が必要な方を適切な形で転院結果を行っている結果である。

新規相談件数及び新規入院患者の推移について

相談件数の推移(令和元年度～令和5年6月)



新規入院件数の推移（令和元年度～令和5年6月）



新規相談件数及び新規入院患者の推移

- 新規相談件数は、令和元年10月以降減少しており、新規入院患者数も減少している。
- 新規相談、入院等が減少していたにも関わらず、入院患者数は横這いとなっており、高い稼働率を維持している。
- ➡令和元年10月以降は、これまで以上に無理な退院抑制を行っていた可能性が示されている。
- 令和2年1月には、新規相談件数及び新規入院患者数は最も低くなっているが、令和3年10月以降は急速に回復している。新体制になり、改善・改革を行っていることにより信頼回復していることが裏付けられる。
- 令和5年4月より外来を強化し、入院から地域生活へ繋がるようなシステム構築を行っている。また、社会的なニーズに即した医療を提供できるよう“発達外来”も開設した。